

脱原発・放射能汚染を考える

フクシマ原発事故を隠蔽する「復興五輪」を許すな！ 聖火リレーは「安全」でも、住民には汚染の地での生活強要

東京では、教育委員会の指示のもと、支援学校を含む全小中学校で「オリパラ教育」が進められ、「日本人としての自覚と誇り」が刷り込まれようとしている。東京だけで約100万枚の入場券が準備され、ほぼ強制的に教員の引率で観戦する。そして高校では「奉仕」の時間にボランティア参加が呼びかけられ、教育委員会によって学校単位で人数が割り付けられているという。大学生のボランティア(10日間・無償)の動員の為に、文部省は試験期間の繰り上げ、授業日程の調整などを求める通知を出した。戦時に行われた慶祝行列動員、少年兵志願、学徒出陣そのものである。

「復興五輪」しか述べない安倍首相の施政方針演説

1月20日通常国会の開会で、安倍首相は「施政方針演説」を行った。演説の中には「オリンピック」という言葉がさりばめられ、国民の統合が主張されている。今なお非常事態中の福島原発事故に関しては「復興五輪」の項目の中で、ビレッジからの聖火リレー、道路と鉄道の全通と、避



難指示区域の解除がうたわれるだけで、今なお避難生活を続ける住民、収束しない事故炉、放射性汚染の蓄積と拡大には触れることなく、対策も述べられていない。

汚染地を安全と言いくるめる「聖火リレー」

復興作業の拠点であった「J ビレッジ」を聖火リレーの出発点にすることが「復興五輪」の目玉である。東電は昨年末に再除染を行い、福島県が21日に「環境モニタリング結果」を発表した。それによれば、リレー区間の平均値は0.04~0.25 μ CV で、最大値は飯舘村の0.77 μ CV とした。その値は4時間滞在したとしても追加被曝量は0.003 μ CV で国の目安と較べて問題ないとした。しかし0.25 μ CV は、「除染対象」であり、現地住民は4時間だけではなく24時間生活しており、年間では6.57mSV となり、国の基準を大幅に超える。この値は舗装されたメインロード

沿いであり、更に放射線量の高いところはいくらでもある。それが飯舘村の現実で、「復興」はまったくのデマである。オリンピックのトライアスロン会場の「お台場海浜公園」の汚染も大きな問題となっている。下水処理場からの「大腸菌」汚染が強調されているが、ここは測定されていないが東京での放射線汚染のホットポイントでもある。

米トランプ政権の非人道的軍拡を許すな

「対人地雷」の開発・製造・使用拡大へ

対人地雷を全面的に禁止する「対人地雷禁止条約」(オタワ条約 1999)は160カ国以上批准する国際条約。米国は朝鮮半島以外では使用しないとしてきた。トランプ大統領は、「米国第一」を掲げて、今回は対人地雷の製造、使用への制限を見直そうとしている。

米国、小型核兵器を潜水艦に配備へ

米国防省は2月4日、爆発力を広島型原発の半分以下に抑えた[小型核弾頭]を搭載した潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)を実戦配備したと発表し、国防次官は「抑止力を強化する」と表明した。トランプ政権は18年2月に「核戦略見直し」を発表し、小型核弾頭(使える核兵器)の開発を進めてきた。すでに航空機に搭載する「小型核兵器」は配備していると言われている。現在のところ小型核兵器の使用を制限する国際的枠組みはない。

辺野古新基地建設の軟弱地盤データを防衛省が隠蔽

「砂上の楼閣」！設計は成り立たず工事は不可能

辺野古新基地建設で、埋立予定の大浦湾に存在した「軟弱地盤」について、防衛省は大量の砂をパイプ状に埋めることで強度を強めるとして、沖縄県に工事の設計変更を申請する予定である。

水面下70mを超える軟弱地盤の強化工事は日本では実績はない。

防衛相が隠蔽した地盤データ

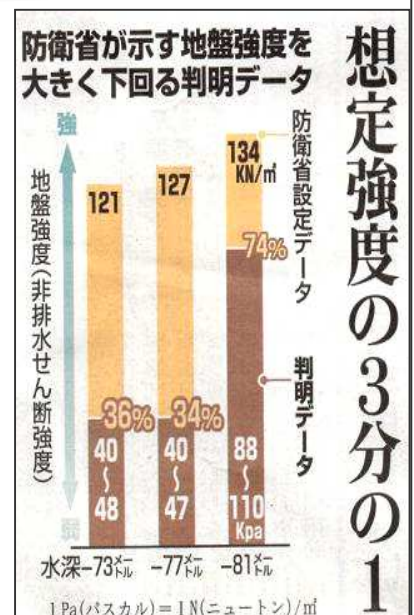
今回防衛省から「技術検討委員会」に「地盤強度データ」が提出された。海底から採取された土の強度を調べたデータである。その中で深度90mにあるB27地点について、防衛大臣は予算委員会で、「調査はやっていない」と答弁したが、実は実施され、その強度は防衛省

の設定する値の3分の1程度であったことが判明した。防衛省はこのデータを隠し、他の場所のデータを使用し、都合よく集計して強度があるように見せかけていた。(ここまで「赤旗」日曜版 2/9 より)

改竄を謝罪し建設を中止せよ

自分に都合のよいように書き換えた「地盤強度データ」は信用できないし、それを元に設計変更申請は出来ない。

日本には70mを超える地盤改良工事が行える作業船はない。県民の圧倒的多数が反対し、米軍海兵隊の多くもグアムに移動が決まっている中で、辺野古新基地の建設は不要である。防衛省は建設の強行を止めるべきである。



佐賀県玄海市長が原発業者から現金(1/24 朝日)

佐賀県玄海町の脇山町長は23日に記者会見で、2018年7月の町長選で、福岡県敦賀市の「塩浜工業」から「現金100万円くらい」を受け取ったことを明らかにした。政治資金収支報告に記載されておらず、約2年後に「友人(すでに死亡)に託して返金」したという。そして会社側は「大阪支店長だった専務(すでに死亡)が渡した可能性が高い」という。「死者に口なし」の隠蔽工作である。

四国電、伊方判決に異議申し立てできず(1/28 朝日)

四国電力の永井社長は27日、伊方3号の運転差し止め決定について、取消しを求める「保全異議」の申し立てを先送りするとした。昨年の定期検査以来、電源の一時喪失などのトラブルが続いており、その原因究明や再発防止策の検討を優先するとした。

関電高浜3号 MOX燃料取り出し(1/28 朝日)

四国伊方原発に続いて、関電高浜原発3号機で、使用済となった「プルトニウム混合核燃料(MOX)」の取り出しが27日から開始された。使用済 MOX 燃料の処分方法は決まっておらず、通常の燃料廃棄物と比べ高温のため約6倍の期間の冷却が必要である。行き場はない。

関電高浜3号 テロ施設遅れで停止へ(1/30 朝日)

関電は29日に、高浜原発の3・4号機を夏以降約半年間停止すると発表した。建設工期を大幅に短縮し、3号機は8～12月、4号機は10～2月の停止とし、停止中に「定期検査」も組み込むとしている。

敦賀原発 地層データ無断で書換え(2/8 朝日)

再稼働をめざし、規制委に審査請求中の日本原発の敦賀2号機の審査で、提出されている「原子炉直下に活断層があるかどうかの判断に必要な調査資料」のデータが書き換えられていた。地層が「未固結」と記述されていたのを10箇所以上で「固結」と書き換えていた。規制委は信頼できる資料が提出されるまでは審査を再開しない。

関電社内第3者委員会が近日に答申(2/7 朝日)

関西電力の「第3者委員会」は3月に報告書をまとめ、関電に提出する予定である。報告書では、金品の授受の実態と、工事発注などに便宜が図られてきた実態について、第3者委員会がどのような調査をどこまで広げて実施したのかが問われている。「第3者」の質が問われている。

報告 中国人強制連行国賠訴訟 高裁判決

2月4日に大阪高裁で花岡鉦山等に強制連行され過酷な労働を強いられた中国人労働者と遺族が要求する国家賠償訴訟の判決があった。江口裁判長は、「主文:原告の請求を却下する」と発言して退廷した。中国から参加した原告に極めて不誠実な対応であった。判決は、1審で勝ち取られた「国策による強制連行」「国家の全面的関与」は継続認定しており、最高裁への戦いの武器になる面もある。

夕方にかかれた報告集会には中国から原告、連誼会の代表を含め約70名の参加で開かれた。最高裁で「西松判決」を覆し、国家賠償の実現を闘いとうろと全体で意思統一した。



モリ・カケ・サケラ 政治の「腐敗」と社会の「劣化」
高村 薫さん (議員)
青木 理さん (ジャーナリスト)
木村 真 国会議員
2020年2月22日(土) 14:00~19:30
会場: アクア文化ホール
〒590-0001 大阪府東淀川区東中津 1-1-1
TEL:06-6644-2880

案内 2/22 森友学園問題集会

安倍首相の権力乱用・私物化・犯罪隠蔽の記念碑でもある「森友学園問題」はまだ終わっていない。直近の裁判で損害賠償が認定され、近日中には籠池氏への判決もある。徹底して追及しよう。

場所: アクア文化ホール(阪急曾根駅)

案内 3/8 さよなら原発 !!

福島原発事故から9年。福島事故は収束していないのに、政府はなかったことにしようとしている。無駄な費用を浪費しながら危険な原発を続けている。原発NO!、核燃料サイクルNO!

場所: エルおおさか 大ホール

時刻: 13:00~ 16:00~デモ行進

さよなら原発 2020 関西アクション
「原発はなぜ高いのか」
「福島原発事故の真相」
「原発はなぜ高いのか」
「福島原発事故の真相」
「原発はなぜ高いのか」
「福島原発事故の真相」

案内 3/20 吹田事件フィールドワーク(13時 JR千里丘)

吹田事件は、朝鮮戦争に反対し朝鮮半島へ侵攻する米軍に「武器弾薬を送らせてはならない!」として立ち上がった反戦運動であった。しかも、それは在日朝鮮人と日本人がスクラムを組んで闘った歴史的な平和運動である。

「吹田事件」を伝える映画上映会
3月21日(土) 13:30~16:30
エルおおさか5階 視聴覚室
「きけわだつみの声」
上映会

案内 3/21 「きけわだつみの声」

戦争末期に、戦場での下士官要員不足対策と、空と海での特攻要員として戦地に動員された「学徒兵」の映画を上映し、戦争とは何かを論議。

日時: 3月21日 13:30~16:30

場所: エルおおさか5階 視聴覚室

共催: 取り戻す会・関西わだつみ会

報告 2/11 「建国記念の日」反対! 大阪集会

2月11日に、大阪市大淀コミュニティーセンターで、約300人の参加者で集会は開かれた。

「日の君」強制反対大阪ネット代表の黒田伊彦さんの挨拶に続いて、高嶋伸欣さんの講演『「歴史と伝統」の偽造と五輪による国家主義再構築の阻止をめざして』が行われた。引き続き、東京・福岡・長崎など全国からの報告と、各地で闘う組織からの連帯のアピールが行われた。集会後には梅田までデモ。



報告 「戦争法」違憲訴訟裁判に不当判決(1/28)

1月28日に大阪地裁で、「戦争法」違憲訴訟の判決が行われた。三輪裁判長は憲法判断をせずに差し止め要求を却下した。権利の侵害は「十分うかがい知ることには出来る」とリップサービスをしながら、「抽象的なものにとどまる」との判決であった。冠木弁護士は、あまりにも残念、酷すぎる判決である。直ちに控訴するのでぜひ協力してほしいと訴えた。

